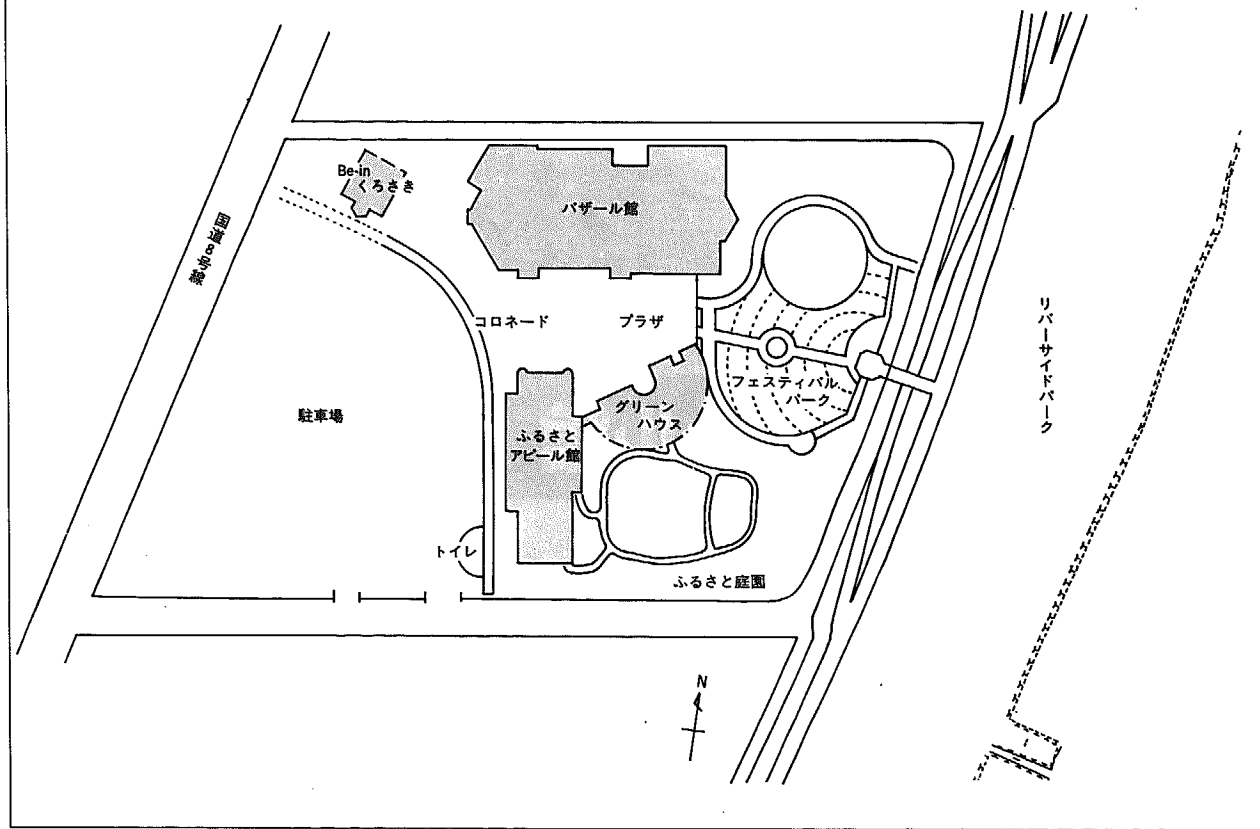


新潟ふるさと村平面図



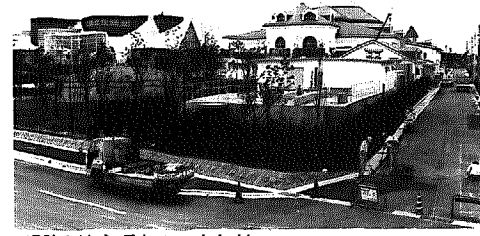
7月17日オープン

新潟ふるさと村

県観光の拠点施設となる新潟ふるさと村が七月十七日、本町の山田にオープンします。新潟県の歴史・文化・観光資源などをアピールするアピール館、県内の特産品を一堂に取り揃えたバザール館、新潟の美しい自然を満喫できるふるさと庭園などのほか、町内の商工業活性化のため地元黒埼町の特産を全国に広く知らせる「Be-in・くるまき」もできます。そこで、オープンを前に、「新潟ふるさと村」の姿をお知らせします。

県を象徴する観光拠点

新潟ふるさと村とは、新潟県が県を象徴する観光拠点施設として官民一体で作られています。



堤防側から見たふるさと村



バザール館

よつとしている、観光・物産の一大センターです。本町山田の国道八号線ぞいの、自動車運転免許試験場の跡地約六・四ヘクタールで整備が進んでいます。

められていました。

施設整備の全体事業費は約五十三億円。このうち県が三十億円、県や県内各市町村、それに民間企業などが出資した第三セクター(株)新潟ふるさと村が約二十三億円です。オープン後は年間約百二十万人の利用客を見込んでいます。(以上、県商工労働部観光課の資料による)

新潟ふるさと村内の施設としては、新潟県の姿を楽しくわかりやすく知らせるアピール館、県内の物産を一堂に集め販売するバザール館、新潟県の美しい自然を示すグリーンハウスやふるさと庭園、フェスティバルパークなどがあり、地元黒埼町を全国に向けて売り出すための「Be-in・くるまき」もできます。これらの各施設については、四ページと五ページで紹介していますので、詳しいことはそちらをご覧ください。施設の配置については三ページの平面図を

ご覧ください。また、駐車場は約二万七千七百平方メートルあり、大型バス五十台、普通車三百台が駐車できます。

イベント盛りだくさん

七月十七日(日)には新潟ふるさと村がいよいよオープンします。

オープン当日には、オープニングセレモニーのほか、ふるさと民謡フェスティバルが行われます。

さらに、二十一日(日)まではオープニングウィークとして全国チンドン屋フェスティバル(十八日) 屋外演芸館(十九日) 氷の彫刻(二十日) グリーンコンサート(二十一日) といったイベントが、日が変わりで行われます。また、これ以降もさまざまな



アピール館(駐車場から)

なイベント・催し物が計画されています。町民の皆さんもぜひ、ご来場ください。

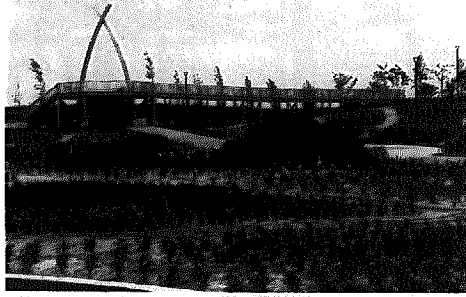
町も周辺の整備進める

町としては、Be-in・くるまきだけでなく、ふるさと村周辺の道路や周辺環境の整備も進めています。

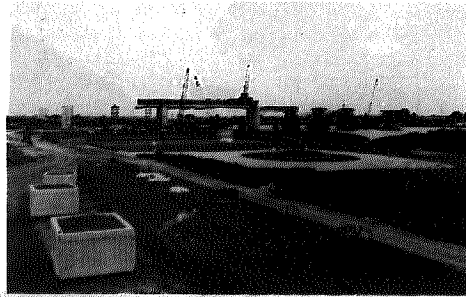
ふるさと村周辺の町道の整備では、ふるさと村南側の新潟ふるさと村線、東側の山田二十二号線、北側の山田二十二号線の三路線を平成元年度から二年度にかけて改良・舗装してきました。事業費は三路線合わせて約一億五三三三万円でした。

また周辺環境の美化・整備として、河川敷公園の整備、花いっぱい・緑化の推進などを行っています。

河川敷公園はふるさと村の



リバーサイドパークへの通路



町が整備を進める河川敷公園